

10月15日

かしこ むすめ
テーマ：賢い娘たちのたとえ

ふくいんしょ しょう せつ
聖書箇所：マタイの福音書25章1～13節

◆今日のみことば

だから、目をさましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないからです。

マタイの福音書25章13節

◆メッセージ

世界中にはいろいろな結婚式があるのを知っていますか。花婿さんと花嫁さんがきれいな色とりどりの衣装で着かざったり、いろいろなお祝いが続いたりと・・・、みなさんはどんな結婚式に出たいですか。

聖書の時代にも結婚式がありました。10人のお姉さんたちが花むこをお迎えしてお祝いするために、あかりを用意して待っていました。10人のうち5人のかしこいお姉さんたちは、あかりも油も用意していました。でも、ほかの5人のお姉さんたちは油の用意を忘れていました。なんとかなる、と思っていたようです。ところが、花婿の到着が遅れて夜になってしまいました。



お姉さんたちは眠くなって、とうとうみんな寝てしまいました。真夜中になって「さあ花婿が来られた。迎えに出なさい。」という、声が聞こえました。お姉さんたちはいそいで飛び起きて、あかりの用意をしました。時間がたっていたので、油がきれてしまいました。油の用意を忘れた5人のお姉さんたちは、かしこいお姉さんたちに、油を分けてくれるように頼みましたが、かしこいお姉さんたちは自分の分しかありませんでしたので、お店



に買いに行くようにとすすめました。それで油の用意を忘れた5人は、お店に油を買いに行きました。するとその間に花婿が着きました。用意のできていたかしこいお姉さんたちは、花婿といっしょに式場に入り、戸が閉められ、お祝いが始まりました。お店に油を買いに行っていた5人のお姉さんたちが帰ってきて戸を開けてくれるように頼みましたが開けて

もらえませんでした。

用意していることが大切です。何を用意しなければならないでしょう。かしこいお姉さんたちは、油でしたが、私たちは、イエスさまを迎える信仰の備えをしていなければいけません。イエスさまは、再び来る、とおっしゃいました。イエスさまはみんなを救うために来られます。しかしいつどんな時に来られるのかはだれも知りません。油断して用意していないと、お迎えできません。どんな用意が必要でしょうか。聖書を読んで、聖霊なる神さまにしたがっていきることです。いつイエスさまが来られてもいいように、いつも聖書を読んで、お祈りして待ちましょう。

◆お祈り

「イエスさまがいつ来られてもいいようにいつも聖書を読んでお祈りして待つことができるように助けてください。」

(村上福音キリスト教会牧師 宮本直洋)